

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) クレアメディコ	代表者	岡本 恒夫	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑 長倉	管理者	小林 正明		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	0人	1人	0人	3人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・月例会議にて自己評価委員による勉強会を4月10月に開催する。 ・社会制度についての勉強会を8月に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に新任職員を対象とした研修を実施した。10月は自己評価を実施した。 ・社旗制度についての研修はできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価は行っているが職員の出入りにより新しい職員に学習の機会を与えてはよいのではないか。 ・昨年からの課題の社会制度の研修を開催してほしい 職員の異動の状況が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を作成しプロジェクト委員中心に研修を作成する。(社会制度) ・職員の異動を細かく案内を作成する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会と連携し、さわやか新聞などを引き続き回覧して頂き、介護相談を行っていることをアナウンスしていく。 ・コミセンを春夏秋冬とお借りし講習会を開催して開かれた施設をアナウンスしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の回覧板に事業者の紹介を乗せた ・美観に努め、ご利用者様と一緒に草刈りをおこなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様と一緒に環境整備をおこなってよかった。 ・畑や花壇を活用し明るい雰囲気作りをしたら世ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園外活動をご利用者様と一緒に行い美化活動として花壇活用を行っていく ・30年度中、月決算時にナースコートを穏やかな音色のシステムに移行する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会様と定期的に打ち合わせの機会を作り町内の情報を共有し苑の取り組みをアナウンスし介護相談を随時受け入れしていく。 ・小学校や幼稚園と交流の機会を持つためボランティア担当の方と企画を立案実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春祭り、冬まつりに参加し清掃活動にも参加できた。 ・地区全体で雑巾プロジェクトを立ち上げ中学校に寄付した。 ・時折、地域の方からの相談や福祉道具を貸して欲しいなど依頼があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の回覧板に広報誌を回して頂き介護相談を引き続き受けてほしい(相談件数3件) 町内会との打ち合わせは随時行っているとの事であるが情報共有が出来ているか疑問である。 ・雑巾プロジェクトで小中学校との交流が出来てきている。 ・本年度初めてクリーン作戦に参加した。 ・夏祭りの参加者は3名であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌を引き続き町内会に回覧板で回して頂く。 ・町内会と定期的な打ち合わせを行い情報共有の場をつくる。(月一回) ・雑巾プロジェクトを引き続き行い小中学校と交流の機会を増す。 ・町内のクリーン作戦に参加する。 ・町内新設公園(けやき広場)に専用歩道を使用し好天時、日中レクの一環で出向っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会のお祭り(夏祭り、雪まつり)に参加する。 ・コミセンの行事に参加し出向っていく。 ・小学校や幼稚園の行事に参加する。 ・大きく地域を分け各方面のご利用者様の地域の行事に参加する。 ・各地域の民生委員と連携し連絡体制を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の施設に出向き交流会に参加した。 ・独居のご利用者様の為地域の民生委員と連絡を取り合った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長倉地区の活動に参加できたがその他別の地区の行事には参加できていなかった。 民生委員との関りは長倉、中沢、宮内の方と連絡を取っていた。 ・事業所がご利用者様自体のセーフティネットの役割になってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長倉地区のイベントには引き続き参加していく。 ・近隣施設の活動に参加する。 ・各地区の民生委員との関りを多く持ち、各地域の活動に参加できるようにする。 ・独居や老老介護の状況民生委員との関りもち事業所としての役割分担を明確化する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎ルートを変更し長倉町内の巡視しやすいようにルート変更する。 ・長倉地区担当の民生員に参加して頂き心配な方の情報を硬化する。 ・苑より離縁した場合の対応方法を検討し作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎ルートを見直し心配そうな方がいらっしやれば声がけを行った。 ・苑より離縁したことを想定し地域の方を含め、認知症サポーター養成講座にてロープレを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に心配な方の情報共有を図るため長倉地区民生委員に参加してほしい。 ・送迎中に心配な方がいれば運営推進会議を共有の場として活用してはどうか。 ・個人を特定できない程度で事例検討したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心配な方を共有するうえで運営推進会議に長倉地区民生委員の参加していただく。 ・個人を特定しない範囲で事例検討を行い離縁時の対応や心配な方の情報共有を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・春季避難区訓練にて地震想定での避難訓練を行い地域の方に参加していただく。 ・長倉地区の避難訓練に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春季に水害を想定した避難訓練を地域の方と一緒に市営アパートに避難した。 ・秋季は地区全体で火災を想定した避難訓練を実施しグループ連携にて行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、要配慮者の受け入れ協定を長岡市と協定結んだ。 ・水害時、町内会との協定に基づき水害想定訓練を行い市営住宅に避難した。 ・協定を結んでいることを公表してはどうか。 ・災害時・事業者主体の訓練は東地区全体で連携して行う事が出来たが町内の避難訓練に参加できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の避難訓練に参加する。 ・町内会や長岡市との協定を町内会の総会に公示する。